

名称	株式会社ジャパンベリー
代表者	うえやま ゆたか 上山 優
所在地	藤枝市青南町
キャッチフレーズ	中山間地の茶栽培から大規模イチゴ栽培に転換

経営概要

(1) 設立の経緯

藤枝市の中山間地・瀬戸ノ谷で就農し、直後にみかんの大暴落を経験し、茶を主幹に水田でのレタスとの複合経営を確立しました。

その後、茶の販売不振から瀬戸ノ谷地区の自身を含む農業者4人で「農事組合法人ジャパンベリー」を設立し、市内南部でイチゴ経営を開始しました。初期投資を抑えて高設栽培を導入し、113aの県内最大規模のイチゴ法人経営となりました。

現在は、農地を集積し約230aまで規模拡大するとともに、平成31年に株式会社に組織変更しました。



販売施設全景

(2) 経営の特色

夜冷育苗施設を導入し、作期前進による増産で大手量販店との契約栽培を開始しました。また、生産拠点に整備した直売所での販売とともに、旅行会社と提携して大型観光バスを誘致し、観光イチゴ狩にも取り組んでいます。

静岡県農林環境専門職大学などの研修生を積極的に受け入るとともに、多くの女性等をパート雇用し、地域の雇用機会の創出に貢献しています。

また、地域の保育園をイチゴ狩に招待したり、小中学校の体験学習を受け入れるなど、農業に対する理解を深める活動にも積極的です。

さらに、地域の特別支援学校の研修受入や福祉事業所への年間を通じた作業委託など、農福連携にも取り組んでいます。

こうした長年の功績が評価され、上山氏は令和3年度農事功績者として表彰されました。

(3) 今後の方向

イチゴの収穫がない7～8月の収益確保のため、イチゴを使ったソフトクリームやかき氷などの商品開発に取り組み、販売を開始しました。

コロナ禍で観光イチゴ狩が影響を受ける中、新たな販路としてネット販売にも取り組んでいきたいと考えています。



ハウス入口